

熊本県は、東京都で行われる光のアートイベント「竹あかり」の展示を発表しました。この展示は、熊本の文化や観光の魅力を広めるとともに、過去の災害支援への感謝の意を伝える目的で開催されます。

まず、文京区立肥後細川庭園では、11月27日から12月1日まで「秋の紅葉ライトアップ～ひごあかり～」が開催されます。この庭園は熊本藩細川家の歴史ある跡地で、池泉回遊式庭園の紅葉と幻想的な光のアートが調和した美しい風景が楽しめます。また、デビュー15周年を迎える熊本のマスコットキャラクター「くまモン」をモチーフにした特別な竹あかりや、観光PR展示も見どころです。入場は無料で、少雨でも決行されます。

さらに、新宿区立漱石山房記念館では、12月4日から12月27日まで、熊本と縁の深い文豪・夏目漱石をテーマにした竹あかりが展示されます。この記念館は、漱石が晩年を過ごし、多くの名作を生み出した「漱石山房」の跡地に建てられた施設です。竹あかりは、小説「草枕」や「二百十日」の舞台とも関連するデザインが施され、訪れる人々を熊本の文化に触れさせます。

このイベントは、熊本県と東京都の文京区、新宿区との連携の一環として行われ、地域の歴史と文化の絆を深める機会ともなっています。熊本ゆかりの光の芸術を通じて、首都圏の人々に熊本の魅力を届ける貴重な機会です。